

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための 施設使用のガイドライン（令和3年10月改定）

成田市文化芸術センター

政府による緊急事態宣言の解除に伴い、施設の使用制限等を見直しますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今後も当面の間、本ガイドラインに沿った使用にご協力をお願いいたします。感染状況や国や県が示す方針等に準じ、施設の使用等に変更が生じる可能性があることをご理解の上ご使用ください。

① 施設の人数制限・使用制限

ご使用いただける各施設の人数は、最大で多目的ホール観客数 280 名、他の各施設は従来の使用人数に戻します。（ただし、ホールについては来場者による大声での歓声、声援等がないことを前提とする使用とし、使用方法によっては半数の 140 席とさせていただく場合がございます。）

なお、下記のいずれかに当てはまる場合は、マスク（フェイスシールドなどマスクに代わるものでも可）の着用や人と人との間隔を 2m 以上（少なくとも 1m 以上）あける、時間内に消毒時間を設けるなどの条件をつけて貸し出しをさせていただきます。

- ① 近距離での会話・発声・飛沫が発生する可能性の高い活動
※音楽室において、発声する場合には人と人との間に飛沫防止シートを設置すること。
- ② 道具を共有する活動
- ③ 飲食を伴う活動

② 主催者・出演者・観客等、来場者全員の体調管理

主催者は、来場者全員の健康状態の確認をお願いいたします。

発熱や咳、味覚障害、倦怠感、風邪などの症状がある方や、体調が優れない方は来場を自粛していただくようお願いいたします。可能な限り、体温計等によって来場者の検温を実施してください。また、来場者全員に対し、同様の告知をお願いいたします。

③ 来場者リストの管理

主催者は、来場者全員のリスト管理（氏名・連絡先等）を行ってください。

万が一感染者が発生した場合には、来場者リストの提出等、保健所・医療機関などへ出来る限りの協力をお願いいたします。※個人情報の取扱いには十分ご注意ください。

また、市の主催事業では、来場者の体調やご連絡先を「入館確認票」に記入していただきます。

④ マスクやハンカチの準備

来場者全員、マスクを必ず着用してください。また、その旨事前に周知願います。

館内のハンドドライヤーは停止しておりますので、ハンカチをご持参ください。

⑤ 手指の洗浄・消毒の徹底

来場者全員に、入場時の手洗い・手指消毒の徹底をお願いいたします。

受付窓口及び催事中のホール、ギャラリーの入り口には消毒液を設置いたしますが、そのほかの場所への設置を予定している場合には、主催者側で自主的に消毒液を持参し設置してください。

また、主催者は、使用時間内に客席ひじ掛けや備品の机やイスなど、手の接触等があったと思われる場所を、消毒液などで拭いていただくようお願いいたします。会場・備品の消毒には、センターで準備し

た消毒液をご使用いただけます。

⑥ 「密」にならないための配慮

感染を防ぐために人と人との間隔はできるだけ2 m(最低1m)あけ、密集、対面、身体の接触する場面を避けてください。必要に応じて来場者の誘導や入場制限をお願いします。

⑦ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策チェック表の提出

ご予約時に、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策チェック表」をご提出いただきます。すでに予約済の方も、チェック表を提出いただいてからのご使用となりますので、使用条件の確認も含め、お早めのご提出をお願いいたします。

ご使用日には、各項目の励行にご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策チェック表（令和3年10月改定）

記入日：令和 年 月 日 使用日：令和 年 月 日

使用者名 _____

政府による緊急事態宣言は令和3年9月30日をもって解除されましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、引き続きガイドラインに沿ったご使用をお願いします。ご予約時に各項目 にチェック（✓）したものを提出いただき、ご使用日には、各項目の励行にご協力をお願いします。

下記のいずれかに当てはまる場合は、マスク（フェイスシールドなどマスクに代わるものでも可）を着用し、人と人との間隔は2m以上（最低1m以上）あけ、時間内に消毒時間を設けるなど、感染予防を徹底した上で使用します。

- ① 近距離での会話・発声・飛沫が発生する可能性の高い活動
- ② 道具を共有する活動
- ③ 飲食を伴う活動

ホールの使用人数を制限します。（表に予定数をご記入ください。）

施設名	定員	来場者予定数
多目的ホール	280名	

※ただし、ホールについては来場者による大声での歓声、声援等がないことを前提とする使用とし、使用方法によっては半数の140席とさせていただきます。

主催者・出演者・観客等、来場者全員の体調管理を行います。

発熱など感染が疑われる症状がある場合や、体調が優れない場合の来場自粛を周知します。
（可能な限り、体温計等によって来場者の検温を実施してください。）
来場者に対し、同様の告知を行います。

来場者リストの管理を行います。

万が一、後日感染者が発生した場合に必要な応じた連絡が取れるよう、来場者全員のリスト管理（氏名・電話番号）を行います。また、氏名・電話番号を確認することを、イベント案内等にてあらかじめ告知します。
（個人情報の取り扱いには十分ご注意ください。）

舞台上での表現上困難な場合を除き、原則としてマスクを着用します。

来場者は全員マスクを着用します。また、イベント案内等にてあらかじめ来場者に告知します。

手指の洗浄・消毒を徹底します。

手指の洗浄や消毒を来場者に徹底させます。また、スケジュールは、使用后、手の接触等があったと思われる場所を消毒液等で拭きとる時間も含め計画します。
（館内に消毒液は設置してありますが、設置箇所を増やしたい場合には、主催者側で自主的に消毒液をお持ちください。また、会場・備品の消毒には、センターで準備した消毒液をご使用いただけます。）

来場者が密集しないように配慮します。

人と人との間隔は2m以上（最低1m）あけ、密集や身体接触を避けるなど、来場者管理に配慮します。

使用内容チェック表

・ピアノ

- 連弾の際は、マスクを着用し大声を出しません。
- 鍵盤のふきとり（水で湿らし固く絞ったペーパータオルにて）を行います。

・合唱

- マスクを着用しない場合は、出演者間は前後直線上に 2m 以上、左右は 1m 以上を確保し、出演者が向かい合う配置を避けるように計画します。

・管楽器演奏など

- 演奏時以外はマスクを着用し、出演者間は 2m 以上（最低 1m）の間隔を確保します。

・ダンス、バレエ

- マスクを着用しない場合は、出演者間は 2m 以上（最低 1m）の間隔を確保します。

・カラオケ・ライブ

- マスクを着用しない場合は、舞台と客席は 2m 以上、出演者間は 1m 以上の間隔を確保します。

・音楽室の使用

- 管楽器演奏は、演奏時以外はマスクを着用します。
- マスクを着用せず発声する場合は、人と人の間に飛沫防止シート（センター備品）を設置します。

・飲食

- ホール（平土間使用時）での飲食の際は、黙食します。
（個包装の弁当形式なら間隔を 1m 以上あけた上で飲食（黙食）していただければ可能です。）